

2020年2月27日

## デジタル印刷の表現領域を拡大する新特殊トナー 「ピンク」発売

### プロダクションプリンター「Iridesse Production Press」の 特殊色対応強化

富士フィルムグループの富士ゼロックス株式会社(本社:東京都港区、社長:玉井光一)は、プロダクションカラープリンターのハイエンドプロ市場向けモデル「[Iridesse Production Press](#) (イリデッセ プロダクション プレス)」の特殊色対応強化を目的に、新たに「ピンク」の特殊トナーを追加しました。アジア・パシフィック地域では2020年2月下旬以降に順次発売し、国内では同年3月13日に発売します。

1パス6色プリントエンジンを持つ Iridesse Production Press は、シアン・マゼンダ・イエロー・ブラック (CMYK) トナーに加え、最大2色の特殊トナーが搭載できることにより、かつてない豊かな色表現が可能なデジタルプリンターです。これまで Iridesse Production Press 向けに発売されてきたゴールド、シルバー、ホワイト、クリアー、カスタムレッドといった特殊トナーに加え、今回発売されるピンクトナーは、当社独自の [EA \(Emulsion Aggregation\) トナー](#) に新たな蛍光系の色材を混ぜ最適化させることで実現しました。

明るく鮮烈なピンク色を印刷物のデザインに用いることによって、かわいらしさ、格好良さ、上品さなど、表現の幅を広げます。また、他色トナーと重ね合わせて使用することにより、CMYKの4色だけでは再現できない、鮮やかなオレンジ、レッド、バイオレットなどの色を印刷でき、企業のブランドカラーなど特殊な色をより忠実に再現することが可能になります。ゴールドやシルバーなど既存の特殊トナー色と併用することもでき、印刷表現の幅が広がることで、POP、リーフレット、カタログなどのマーケティングコラテラルや、紙器・パッケージなどを中心としたオンデマンド印刷の多様なニーズに応えます。





左) CMYK トナーによるオレンジ  
右) CMYK トナーにピンクトナーを混ぜ  
て印刷したオレンジ

また、印刷物のデザイン制作工程においてピンクトナーを生かした色表現を容易に行うために、プリントサーバー「GX Print Server for the Iridesse Production Press」には、クライアント PC にダウンロードして利用できる「ピンク分版\*1 用 ICC プロファイル\*2」を提供します。RGB データや指定された特色データを、最適な CMYK 版のデータとピンク版のデータに自動で分版することで、ピンクトナーを活かした色表現を容易に適用して印刷することができます。

紙での出版部数の減少傾向が続く出版印刷市場においては、特に重版においてデジタル印刷を活用した小ロット生産で在庫リスクを回避する動きが活発になっています。国内の雑誌やコミックの表紙などで一般的に使われている蛍光ピンク色 (DIC584B) などが、「ピンク」トナーを使いデジタル印刷によって再現されることで、小ロット出版のニーズにこれまで以上に幅広く応えることが可能になります。また、小ロットの出版物である同人誌にも蛍光ピンク色は多く使用されており、ピンクトナーには大きな需要が見込まれます。

Iridesse Production Press は、確かな基本性能と特殊トナーによるこれまでにない色表現によって印刷の新たな可能性を開き、お客様のビジネス拡大に貢献します。

\*1 分版：使用するトナーやインキの色ごとに印刷原稿の出カデータを分けること

\*2 カラーマネジメント(色管理)において、国際標準化機構(ISO)の公表した標準に従い、色に関わる入出力機器や色空間を特徴付ける一連のデータ

#### 【標準価格(税別)】

トナーカートリッジ(ピンク) 82,000 円

お知らせ：2021 年 4 月 1 日から、富士ゼロックス株式会社は社名を「富士フイルム ビジネス イノベーション 株式会社」に変更いたします。

- Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
- プレスリリースに掲載されているサービス、商品名等は各社の登録商標または商標です。